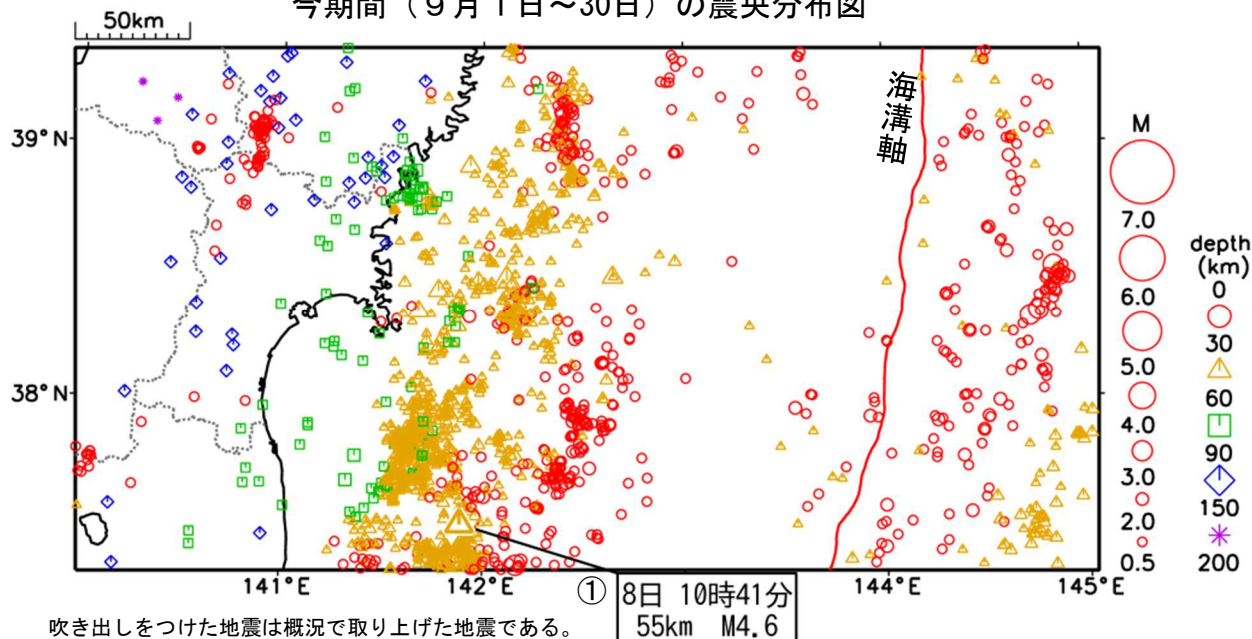


宮城県月間地震概況

2024年 9 月

仙台管区気象台

今期間（9月1日～30日）の震央分布図

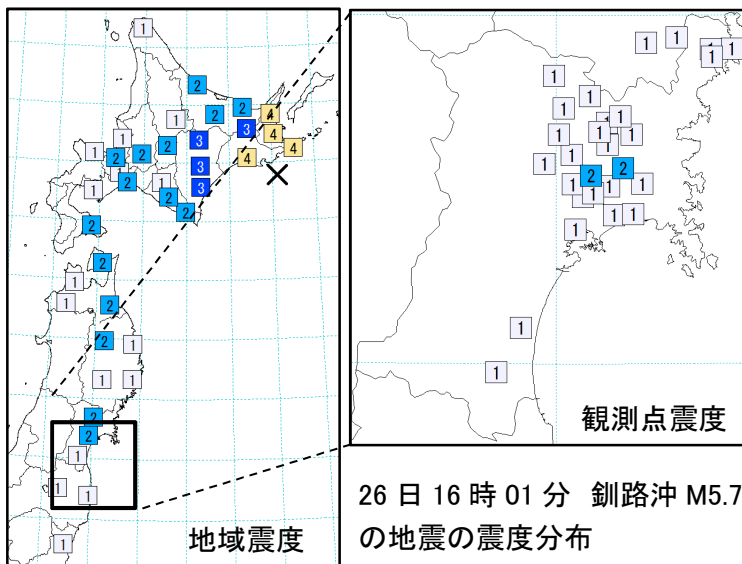


[概 況]

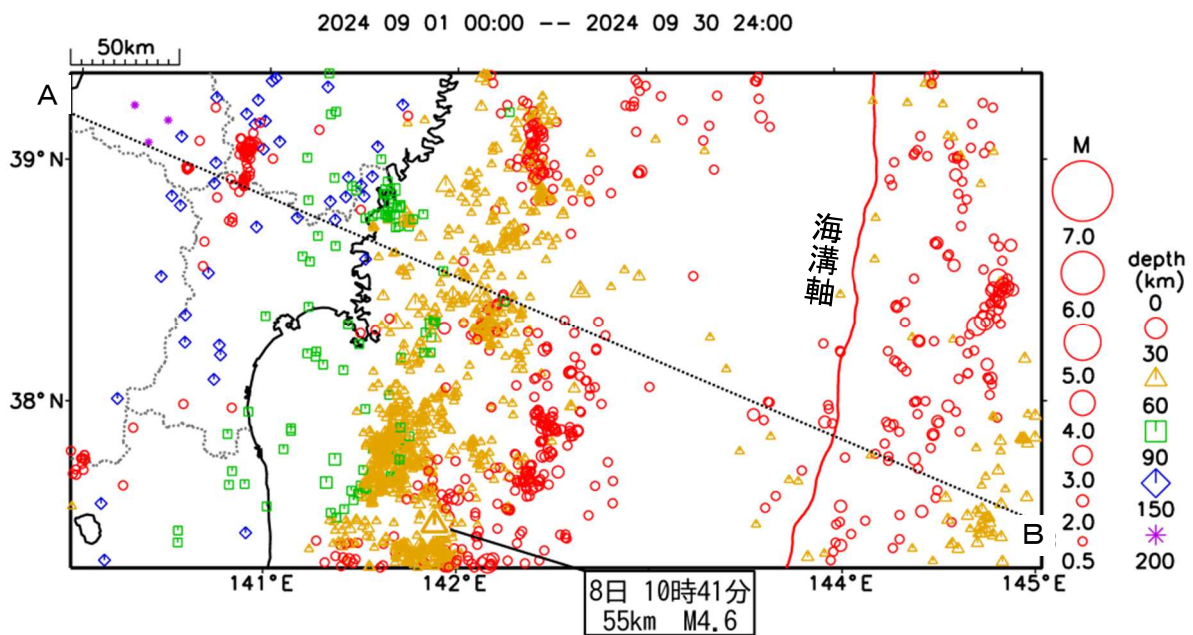
今期間、宮城県内で震度 1 以上を観測した地震は 9 回（8 月：9 回）であった。このうち、宮城県内で震度 3 以上を観測した地震はなかった（8 月：1 回）。

- ① 8 日 10 時 41 分に福島県沖の深さ 55km で M4.6 の地震が発生し、石巻市などで震度 2 を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。今回の地震の震源周辺では「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発で、2011 年 8 月 19 日には M6.5 の地震が発生し、石巻市などで震度 5 弱を観測している。

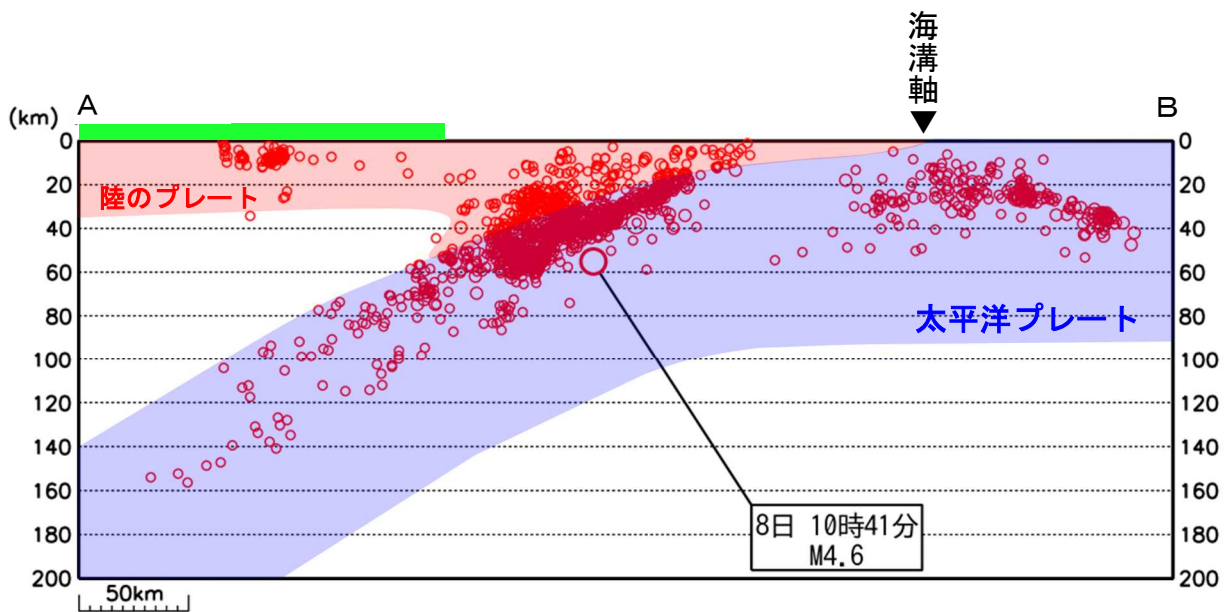
図の領域外であるが、26 日 16 時 01 分に釧路沖の深さ 59km で M5.7 の地震が発生し、北海道で震度 4 を観測したほか、東北地方（秋田県、山形県除く）と茨城県で震度 2～1 を観測した（右図参照）。県内では石巻市と涌谷町で震度 2 を観測した。この地震の震央付近では 2004 年 11 月 29 日に M7.1 の地震（北海道で震度 5 強、県内では登米市と涌谷町で震度 3）が発生し、北海道で重傷 7 人等の被害が発生している（総務省消防庁による）。



【震央分布図】



【断面図】 断面図は震央分布図内の震源を直線A－Bに投影したものである



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※■は陸地の位置を示している。

※海溝軸付近から沖合の地震の震源は深さの精度が十分でないものも含まれており、
実際は浅いところ（深さ10km～30km）のものが多いと考えられる。

宮城県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年 9 月 1 日～2024年 9 月30日

発 生 時 刻	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2024年09月03日20時10分	宮城県沖	38° 20.7' N	141° 40.8' E	53km	M3.5
宮城県 震度 1 : 石巻市桃生町＊					
2024年09月07日22時42分	東海道南方沖	32° 15.7' N	137° 53.1' E	399km	M5.3
宮城県 震度 1 : 大崎市田尻＊ 岩沼市桜＊					
2024年09月08日10時41分	福島県沖	37° 30.7' N	141° 53.3' E	55km	M4.6
宮城県 震度 2 : 岩沼市桜＊ 宮城川崎町前川＊ 亘理町悠里＊ 山元町浅生原＊ 石巻市桃生町＊ 震度 1 : 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 栗原市築館＊ 栗原市瀬峰＊ 栗原市志波姫＊ 栗原市高清水＊ 栗原市金成＊ 栗原市一迫＊ 登米市中田町 登米市東和町＊ 登米市豊里町＊ 登米市南方町＊ 登米市迫町＊ 登米市石越町＊ 登米市米山町＊ 宮城美里町木間塚＊ 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市古川旭＊ 大崎市松山＊ 大崎市三本木＊ 大崎市鹿島台＊ 大崎市田尻＊ 白石市亘理町＊ 仙台空港 名取市増田＊ 角田市角田＊ 蔵王町円田＊ 大河原町新南＊ 村田町村田＊ 柴田町船岡 丸森町上滝 丸森町鳥屋＊ 仙台青葉区大倉 仙台青葉区作並＊ 仙台青葉区雨宮＊ 仙台宮城野区五輪 仙台宮城野区苦竹＊ 仙台若林区遠見塚＊ 石巻市泉町 石巻市鮎川浜＊ 石巻市大街道南＊ 石巻市北上町＊ 石巻市前谷地＊ 石巻市雄勝町＊ 塩竈市今宮町＊ 多賀城市中央＊ 東松島市小野＊ 東松島市矢本＊ 松島町高城 七ヶ浜町東宮浜＊ 利府町利府＊ 大郷町粕川＊ 大衡村大衡＊ 女川町女川＊					
2024年09月09日04時00分	福島県沖	37° 50.5' N	141° 36.3' E	49km	M3.5
宮城県 震度 1 : 角田市角田＊					
2024年09月12日20時08分	宮城県沖	38° 49.6' N	142° 13.3' E	47km	M3.8
宮城県 震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣＊ 気仙沼市唐桑町＊ 石巻市桃生町＊					
2024年09月15日04時40分	宮城県沖	38° 28.2' N	142° 07.1' E	41km	M4.4
宮城県 震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣＊ 気仙沼市唐桑町＊ 涌谷町新町裏 栗原市栗駒 栗原市築館＊ 登米市中田町 登米市東和町＊ 登米市南方町＊ 登米市米山町＊ 南三陸町歌津＊ 大崎市古川三日町 大崎市古川大崎 大崎市鳴子＊ 大崎市古川旭＊ 大崎市田尻＊ 岩沼市桜＊ 石巻市泉町 石巻市鮎川浜＊ 石巻市大街道南＊ 石巻市北上町＊ 石巻市桃生町＊ 石巻市雄勝町＊ 東松島市小野＊ 東松島市矢本＊ 松島町高城 女川町女川＊					
2024年09月24日12時07分	宮城県沖	38° 17.6' N	141° 52.0' E	46km	M3.9
宮城県 震度 1 : 石巻市泉町 石巻市鮎川浜＊ 石巻市北上町＊					
2024年09月24日16時06分	宮城県沖	37° 56.9' N	141° 49.6' E	53km	M3.9
宮城県 震度 1 : 岩沼市桜＊ 石巻市鮎川浜＊ 石巻市北上町＊ 石巻市桃生町＊ 東松島市小野＊					
2024年09月26日16時01分	釧路沖	42° 46.6' N	145° 06.7' E	59km	M5.7
宮城県 震度 2 : 涌谷町新町裏 石巻市桃生町＊ 震度 1 : 気仙沼市赤岩 気仙沼市笹が陣＊ 気仙沼市唐桑町＊ 栗原市栗駒 栗原市築館＊ 栗原市高清水＊ 栗原市若柳＊ 登米市中田町 登米市登米町＊ 登米市南方町＊ 登米市迫町＊ 登米市米山町＊ 宮城美里町木間塚＊ 大崎市古川三日町 大崎市松山＊ 大崎市鹿島台＊ 大崎市田尻＊ 角田市角田＊ 岩沼市桜＊ 石巻市大街道南＊ 石巻市相野谷＊ 石巻市前谷地＊ 東松島市矢本＊ 松島町高城					

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査の後、変更することがある。
各地の震度は宮城県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

11月5日は津波防災の日です

「津波防災の日」とは？

「津波防災の日」とは、平成23年3月に発生した東日本大震災を受けて、平成23年6月に制定された「津波対策の推進に関する法律」により、津波対策についての理解と関心を深める目的として定められた日です。江戸時代に大きな津波被害をもたらした「安政南海地震」が発生した日にちなみ、11月5日[†]を「津波防災の日」としています。津波防災の日の前後に津波避難訓練を行う自治体もあります。皆さんも、津波からの避難について職場や家庭で話し合う機会とし、津波避難訓練が行われる地域にお住まいの方は訓練に参加しましょう。

11月5日は
津波防災の日

安政南海地震と「稲むらの火」

安政元年（1854年）11月5日[†]、紀州藩広村（現在の和歌山県広川町）は安政南海地震とそれに伴う津波に襲われました。このとき35歳になる濱口梧陵は、逃げ遅れた村人が暗闇の中で逃げる方向を見失わないよう、道筋にあたる水田の稲むら（取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの）に松明で次々に火をつけ、村人を安全な場所に導き、津波から多くの命を救いました。

それからおよそ40年後の明治29年（1896年）、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は安政南海地震の際の濱口梧陵の偉業をヒントに、「A Living God（生き神様）」という短編小説を書きました。その後、小学校教員の中井常蔵により小学生向けに書き改められ、「稲むらの火」と題して昭和12年から10年間、小学国語読本（5年生）に掲載されました。読本の「稲むらの火」は、五兵衛という老人が、海が引くのを見て津波の襲来を予測し、何も気づかない村人にこのことを知らせるため、稲むらに火をつけ、安全な場所に避難させたという話です。この「稲むらの火」は実際の話とは異なっていますが、これを学んだ小学生に深い感銘を与えるとともに、防災に関する基礎知識を伝えたと評価されています。



濱口梧陵が稲むらに火をつけようと松明を持って走る姿の銅像。広川町役場前の稲むらの火広場。

出典：特集 津波防災の日（内閣府）

https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhouubousai/h26/76/special_01.html

【参考】 稲むらの火（気象庁）

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami/inamura/p1.html>

稲むらの火と津波対策（内閣府）

<https://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-top.htm>

平成16年度国土交通白書

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h16/hakusho/h17/index.html>

[†] 安政南海地震の発生日「安政元年11月5日」は旧暦での日付であり、現在の歴では1854年12月24日となります。

11月5日に緊急地震速報の訓練を行います

気象庁では、**令和6年11月5日（火）10時00分頃**に緊急地震速報の全国的な訓練を行い、訓練用の緊急地震速報を発信します。発信される訓練用の緊急地震速報を活用した訓練の方法などについては、以下のページをご参照ください。

○緊急地震速報を活用した訓練について

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

訓練を行う方法や訓練時の行動に加えて、日頃からの備えを紹介していますので、ご確認ください。皆さんも訓練を実施してみましょう。

※この訓練で使用する訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオや携帯電話（緊急速報メール）向けには流れません。